川越班

川越市は、大正11 年（1922 年）に県内初

の市制を施行し、令和４年で100 周年を迎えた。１２月１日の市民の日には川越市市制施行１００周年記念式典を開催し、その中で文化芸術活動において優秀な成績を収めた児童生徒たちの表彰を行った。各中学校においても１００周年を記念して、より一層、探求的な「ふるさと学習」に積極的に取り組んでいる。

１ 本年度の役員

〇会長　　内野博紀（富士見中学校）

〇副会長　山原伸治（城南中学校）

〇　〃　　田中　晃（大東中学校）

２ 主な活動内容

(1) 中学校長等研究協議会の実施

毎月１回、市内22 校の中学校長と市立特別支援学校長による研究協議会を開催している。内容としては、県中学校会の報告、今日的な学校経営上の諸課題の解決に向けての協議や研修、部活動の地域移行への意見交換、生徒指導や進路指導に係る情報交換等である。

(2) 川越市校長会の取組

小学校、中学校、市立特別支援学校、市立高等学校の56 校が一堂に集まり、年２回の合同研修会を実施し、資質・能力の向上や異校種間連携教育の推進を図っている。令和５年から小中連携による授業参観及び連絡会については原則市内同一日で行う予定である。

(3)働き方改革に関する作業部会の取組

小学校長会と中学校長会が合同に学校にお

ける働き方改革に関する作業部会を設け、令和元年度から4年間市教育委員会と会議をもち、教職員の負担軽減のための条件整備、教職員の専門性を踏まえた総業務量の削減、教職員の健康を意識した働き方の推進、保護者や地域の理解と連携の促進等について検討を進めている。

報告者 長田茂樹（福原中）